

# 知ってみる「見た目問題」

～多様性の受容と交流のために～

TOGAWA HIROKO / 外川 浩子氏

(マイフェイス・マイスタイル代表)

東京都墨田区生まれ。20代のころ付き合い合った男性の顔に大きな手術痕があった。2006年、実弟の外川正行とともにマイフェイス・マイスタイルを設立。見た目に特徴的な目立つ症状を持つ人たちがぶつかる困難を「見た目問題」と名付ける。問題を解決するため、啓発活動や当事者のニーズに応えた事業を展開しつつ、政策提言にも挑戦。2018年6月、日本初の試みとして、「見た目問題」に関する陳情を墨田区議会へ提出し、全会一致で採択された。

作家水野敬也さんとともに『顔ニモマケズ』を刊行  
(2017年2月、文響社)



## ★当事者2名★

KAWAYOKE SHIZUKA

河除 静香氏

富山県南砺市在住。

「顔面動静脈奇形」という病気で生まれつき鼻と上嘴唇に変形があり、いじめ、差別、じろじろ見られる・・・などの「見た目問題」の当事者。

2011年に『Smiley Tomorrow  
～北陸から見た目問題を考える～』

を立ち上げ、見た目に症状があることが苦にならない人生、笑顔の明日を目指して交流会やイベントを開催。2014年からは「見た目問題」を題材にした一人芝居を始め、その様子がメディアに取り上げられる。活動のテーマは『幸せ発信』。

GOKITSUGU SAYAKA

五鬼継 紗也加氏

地方公務員

ステージ・ウェーバー症候群の当事者(生まれつき右顔面のこめかみ、目のまわり、頬のあたりに赤いアザがあります)

日時：2019/12/1 (日)

10:00～12:15(開場9:30)

場所：倉敷市芸文館 202会議室

託児あり(若干名)

主催：NPO法人育々会 

定員：130名

詳細、お申込み方法は  
裏面へ

